

○議長（堀内春美さん）

続いて、通告6番 9番 齊藤欽也君の一般質問を行います。

9番 齊藤欽也君。

○9番議員（齊藤欽也君）

それでは、通告に従って一般質問していきたいと思います。私の一般質問の内容、先ほどの井上光三議員がですね、やっていた財政ということについて、ただ視点はちょっと違います。というのは、いろいろ聞いていて、私の質問内容に対する答弁もですね、先ほどのいろんな中で、重なる部分はあるだろうと思いますけれども、私は非常に危機感を持って、この質問をさせていただいている。先ほど市川三郷町の話が町長から受けました。土曜日の新聞に載って、余計、実はどういうことなんだと。120何%でという思いはありましたけれども、いずれしてもですね、町の財政という、特に見通しということが、今、非常に重要なことなんでそれについて、まず1つ目のですね、現在、町が示している財政見通しのこの数的な根拠について、内容を伺いたいと思います。よろしくお願いします。

○議長（堀内春美さん）

財務課長 望月聡君。

○財務課長（望月聡君）

ただいまのご質問にお答えをいたします。町の財政健全化判断比率につきましては、これまで地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、決算時に当該年度の指標を公表してきました。これらの財政指標は、当該年度の様々な決算数値により算定される数値であり、今後の町の財政指標として、全ての数値を予測することは極めて困難であります。こうした中、財政見通しを作成する根拠として、現在予定されている今後の事業計画から地方債借入額の予測、人口減少を見込んだ普通交付税額の減少など、可能な限りの予測値や測定値を用いて、財政見通しを試算したところであります。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

齊藤欽也君。

○9番議員（齊藤欽也君）

少しくつかそれに関して、質問したいと思うんですけども。実は、財政見通しということで、4月の半ば過ぎですか、当局の事務方の方から説明を受けました。そこにはですね、これまではそんなに長いスパンではない、見通しが出されていたんですけども、一応努力されて令和13年までということで、将来負担比率と実質公債費比率という2点でしたかね、について説明を受けたと。私は、実は毎回町から出される指標があるんですけども、数字があるんですけども、それをですね、自分なりにいつも打ち直しています、細かく。何が分かるかっていうと、ここは何で減ったんだろう、ここは何で、例えばですね、地方債残高が増えたというときには、事業内容を打っていくと、ここでこうやって増えているんだな、ここでこうやって下がったんだということが非常に分かる。ただ、具体的な内容までは分かりませんよ。全体の流れとして、ここで増え、こういう事業だったらここで減り、こうなっていくんだということで、この数字の内容をですね、把握するようにしております。それでいきますと、先ほど本年度のですね、将来負担比率については、当初92.1%、本年度ではな

く令和4年度です、すみません。それが68.2%に最終的になったと。これは、町長がおっしゃられるように、いくつかの要素があったと思っていますし、寄附金があったとか、諸収入があったとか、そういった、確かに今年の決算内容を見ると3億円から4億円ぐらいは、こういう形で入りましたという説明もあったんで、かなり努力されたと。ですから、単年度で見れば、確かに下がっている。ただ先ほど、井上光三議員と町長とのやり取りの中で出ていますけども、基本的な分母と分子の関係と、財政基準、標準基準ですね、これがどんどんうちの町は規模が小さくなってくると、当然減っていくと。けども、借金はどんどん積み重なっていく。今年ですね、数値でいきますと、総額の借金は、一般会計・特別会計130億円ぐらい。確かになっているんですね。この数字は馬鹿にできない。ですからしっかりと、作っていただきたいんですけど、ただ作っていかれたのを見ていくとですね、少し疑問がある。というのは、確かに単年度では、多少将来負担比率とか、実質公債費比率が上下することは分かるんですよ。ただ、流れとして、借金が増えていって、財政標準の必要な金額ってというのが減っているのに、これでいくと11年をピークに下がっていきますよって、説明になっちゃうんですね。果たしてそうなのかという疑問がどうしても残るんですけども、その辺についてはどう考えているのかお願いしたいと思います。

○議長（堀内春美さん）

財務課長 望月聡君。

○財務課長（望月聡君）

ただいまのご質問にお答えをいたします。令和4年度以降につきましては、標準税収入額、今、1%ずつ人口減少を見込んで計算しまして、普通交付税につきましては、令和4年度以降0.1%ずつ減少、また充当可能基金ということで、令和4年にはふるさと納税分の金額が入っておりましたが、令和5年度以降につきましては、このふるさと納税の金額は入ってありません。先ほど来、令和11年度にピークを迎えるということですが、このピークにつきましては、先ほども井上議員のときに答弁させていただいたんですが、各種大型事業が、今、行っております。その起債の金額がですね、この年をピークになるという内容の答弁をさせていただきましたので、この令和11年度が、今のところ現在のシミュレーションのピークということで、この年度以降は下がっていくというような内容でございます。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

齊藤欽也君。

○9番議員（齊藤欽也君）

今の説明の中で、ちょっと不可思議に思うのは、借金の額が突然減るってことはないですよ、例えば11年ピークなんだけど、12年度には20億円返済しますとか、そういうことじゃないと思う。借金の返済、公債費ってのは、やはり町の規模の中ですから、うちの場合は8億円、多いとき10億円ぐらい、繰上償還という形でやるときもありますけども、8億円から9億円ぐらいが返済に充てる部分としてはギリギリかなと。そうすると、なおかつ借金、確かにいろんな昔の借金が減っていくという部分あると思うんですけど、同時に、インフラ整備、道路とか下水道とか水道の布設替えとかってのは、同じペースでやってくん

で、減る部分あるけども、そんなに私はね、イメージ的には変わらないんだろうというふう
に考えると、この7大事業、あるいは今度はこれからやっていく中学校、もうこれはやるっ
て決めたんでやってくという、この数値の見込みの仕方にはもうちょっと慎重な、基礎的
な、何ていうかな算入、例えば各課からの聞き取りを毎年度やる、それを複数年にわたって
しっかりやっていくということをやっていたらいいと思うんですけど、それがやられてい
るのかどうかを伺いたいと思います。

○議長（堀内春美さん）

財務課長 望月聡君。

○財務課長（望月聡君）

ただいまのご質問にお答えをいたします。この財政シミュレーションにつきましては、全
ての数値を予測することは極めて困難ではありますが、町ではですね、今後の事業計画を各
担当から聞き取りまして、地方債の借入額の予測等を含めた試算をしておるところござい
ます。以上です。

○議長（堀内春美さん）

齊藤欽也君。

○9番議員（齊藤欽也君）

町では決算報告書、国とか県に出します。そのときに付随資料として、6年度以降の主要
事業計画一覧とか、今後の課題とか、いろんな書類を出されているようなんですけども、数
値の見通しは確かに大変ですけども、最大限、要するに可能な限りのものを組み入れていく
という努力は絶えずしてほしいし、町長、非常に危機感を持って、先ほど井上議員とやり取
りをしていましたけども、私は実は、町長こんなに危機感を持っているんだと、改めて、実
は今日ここで確認したとか知ったということですね。財務課とか財政に関わる職員から
説明を受けると、大丈夫かどうかという、やっぱり井上光三議員ではないけど、非常にい
いんですかこれで、健全なんですか、駄目なんですかっていうふうになると、一応数
値以内だから健全ですというような答弁になってしまうんですけども、できれば答弁として
は、やっぱりそこにはね、大きな認識って大事なんで、誤解を与えないような答弁をでき
ればお願いしたいと。それでは次、2つ目に入りたいと思います。先ほど市川三郷町の記事が
ですね、非常事態宣言へ財政抜本見直しなんていう、これ土曜日に出たんで、本当に市川の
人たち、役場関係者とかに聞いたんですけども、そういう時間もなかったんで実際に
聞いていないんですけども、非常に衝撃的な記事で、その前の8月に、うちは財政悪化だよ
ってという記事が載って、えらい記事が載っちゃったなという正直、ここまでまだ、というふ
うな私も認識があったんですけども、でも町民から衝撃を受けた、いろいろ問い合わせが
あった。土曜日には、今度、市川こんな話が載っちゃったと。余計、多分、町民の間では
ですね、今日のこの議会でのやり取りっていうのは、注目を受けるんだろうと思います。そ
ういうことも含めて、いずれにしてもですね、数値的な、数値以内だよという話はいいい。私は、
将来負担比率って350%ってのは、当時、非常に厳しい自治体が多すぎたんで、かなり大
きい数字で国は出した、そうしないと、国が支援する自治体がすごい増えちゃうんで。で
すから、あの数字っていうのは、実は、本当に本当に大きな数字であって、もう200%、1

50%っていったら、危機的に感じなくちゃいけない数字だというふうに、私は実は思っています。それを前提にですね、2つ目の財政健全化に向けた取り組みということについて、具体的にどんなことを考えているのかお伺いしたいと思います。

○議長（堀内春美さん）

財務課長 望月聡君。

○財務課長（望月聡君）

ただいまのご質問にお答えをいたします。町で公表いたしました財政健全化判断比率の予測では、令和4年度決算において、実質公債費比率を11.7%、将来負担比率を92.1%と見込んでおりましたが、結果として、企業版ふるさと納税の好調などが要因となりまして、実質公債費比率は10.9%、将来負担比率は68.2%となりました。国が示す早期健全化基準の実質公債費比率25%、将来負担比率350%を下回る結果となり、本町の財政状況は健全であると考えております。こうしたことから、今後も、町税等の収納率の向上や、企業立地の促進による税収の確保、ふるさと納税による財源の確保、繰上償還による地方債現在高の削減などに取り組み、本町の財政指標が基準内で推移するよう、財政健全化に努めて参りたいと考えております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

齊藤欽也君。

○9番議員（齊藤欽也君）

確かに収入、税の徴収も含めてですけれども、そして、新たな事業というのはDMOということで努力されるということは分かりました。問題は、収入を入れる入れるって言っても、例えば、正直私思うのに、1億2億って話であれば理解できるけども、これ10億20億くるのかっていったら、そういう話にはなかなかいくのは非常に厳しい話で、やっぱり出す借金を今後どのくらい、このしないで済むようにしていくのかっていうことが、やっぱりこの取り組みにとっては1番大事。将来負担比率ってのは、先ほど町長が述べたように、この今ある借金を将来にわたって負担していく、そのために、負担比率ってのはあるわけで、人口が減っていく本町にとって、自前の税収が減っていけば当然減るわけで、返済比率は当然普通なら上がっていく。ですから問題は、私はですよ、取り組みっていった場合には、今やろうとしている事業計画あるいは総合計画で、掲げた事業計画も含めて、見直しをしていくということが前提条件だと思うんですよね。だから、先ほどから体育館の話で、財政見直し、財政見通しって言われて、質問した議員さんにとっては、えって思う方がいっぱいいたと思うんですよ。財政見通しが大変だったの分かっているけども、どうやって作るんだよという話ばかり出たわけです。質問が出たわけですけども。そういうことも含めた見直し、健全化に向けた取り組みっていうのは、実際どういうふうに考えているんですかという話をお聞きしたいんですけども、いかがでしょうか。

○議長（堀内春美さん）

財務課長 望月聡君。

○財務課長（望月聡君）

ただいまのご質問にお答えをいたします。議員さんおっしゃる内容ですが、今後はですね、

各課から上がってきます事業等を精査しまして、またスクラップアンドビルドというような、財政の健全化に努めて、今後の事業に、事業費を抑制するようなこともやっていきたいと考えております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

齊藤欽也君。

○9番議員（齊藤欽也君）

くどい質問になりますけども、抑制に努めるとかっていう話だけでなく、スクラップアンドビルドではなくて、やはり健全化だと、健全だよって言われちゃえば、いや町長、町としてこれもしてよ、これもしたらいい、これもすれば町民の生活向上に役立つじゃないかという提案どんどんされたり、されますよ当然。それは、100万でできるもんならいいでしょうけども、1000万、1億っていう事業になって、それでどんどんどんどん突き付けられていくんですけども、そういうことについてどう考えていくのかってことを聞きたいわけですよ。

○議長（堀内春美さん）

町長 望月利樹君。

○町長（望月利樹君）

これから大きなお金がかかる事業等を見直して、そして方向転換して財政健全化という部分も考えたらどうだというふうに、大卒で私は捉えさせていただきました。実はですね、リニア側道整備、これ当然リニアも工事始まっていますから、これ後戻りできないんですよ。当然、東別館の解体や増穂小学校の大規模改修、大柵大久保線、もう計画して手をつけている部分はですね、これ途中でやめて、方向転換するよ、もっと莫大な大きなお金がかかってしまう。今後ですね、やはり議論して進むか、やめるか、というものの大きいものは体育館なんですよ、やはり。ですから、この財政議論をしっかりして、それで進むかやめるかというところ、この判断も町民全体で巻き起こしてやりたいというところで、そういうつもりでいます。そして先ほど、ちょっと答弁漏れがあったんですが、令和11年12年13年、11年をピークにだんだん減っていくっていうのはですね、ああいう大きな事業をまるっきりやらないということ。だから、今後ですね、ああいう大きな事業をやると、ここがまた増えてくんですけど、もうどんとやってしまったんで、過去に。ですから、次はできない。そのシミュレーションで、だんだんそこで返済が過ぎていって、だんだん少しずつ減っていくということなんです。この132っていう数字もですね、令和13年予測。これもだから先ほども答弁したんですが、総務省の数値だと全国の自治体で3%しかないんです。100を超える、というところもよく皆さん認識を一にしながらですね、いろいろな議論を展開していただければというふうに思っているところでございます。以上です。

○議長（堀内春美さん）

齊藤欽也君。

○9番議員（齊藤欽也君）

町長がおっしゃるとおりだと思いますね。やはり、この問題ってのは、軽視できない、非常に今後の町の運営については重要な部分なんで、私もさせていただき、いただきました。

最後にですね、3つ目に移っていきたいと思うんですけども、来年度以降。

○議長（堀内春美さん）

齊藤欽也君、途中ですが、ここで暫時休憩といたします。

休憩 午後 2時00分

再開 午後 2時10分

○議長（堀内春美さん）

それでは、休憩を解いて再開します。

○9番議員（齊藤欽也君）

それでは3つ目の最後の質問になりますけども、来年度以降の予算編成について、当局の考えを聞きたいと思います。よろしくお願いします。

○議長（堀内春美さん）

財務課長 望月聡君。

○財務課長（望月聡君）

ただいまのご質問にお答えをいたします。当初予算編成については、毎年度、予算編成会議を行い、財務課から予算編成方針を伝えております。令和4年度決算における財政健全化判断比率が予測値よりも低い結果でありましたが、来年度以降も厳しい財政状況が予想されます。こうしたことから、職員1人ひとりが常に一步先の政策を意識し、スピード感を持って各種政策を進めることを念頭に、緊急度・重要度による事業選択、主要施策の効果的な推進、ふるさと納税などの財源確保に向けた取り組みなどを取り入れた予算編成に努める考えでございます。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

齊藤欽也君。

○9番議員（齊藤欽也君）

当然、将来の負担について、心配が多い中なので、慎重な編成は必要なんだろうと思えますけども、もう既に来年度からですね、例えばこれまで良かったのはシーリングっていうやり方、10%シーリングなんていうやり方をしたわけですけど、そういうのは時代に合わないんですけど、少なくとも1つ1つの事業の項目について、これまで以上に厳しい目を持ってですね、各課に対応をですね、検討させる、あるいは項目を挙げて、来年度編成ですからもう10月ぐらいからは具体的にはじまるんだろうと思えますけども、するというぐらいのことはやっていたかかないといけないと思うんですけど、その点についてどのようにお考えですか。

○議長（堀内春美さん）

財務課長 望月聡君。

○財務課長（望月聡君）

ただいまのご質問にお答えをいたします。各課において、緊急度、重要度による事業選択を行っていただく。また、事業の十分な見直しが行われているかなど、主要施策の効果的な推進等の取り組みを行い、その内容につきまして、検討し予算編成に努める考えでございます。

ます。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

齊藤欽也君。

○9番議員（齊藤欽也君）

ありがとうございます。ただ、市川でね、財政抜本見直し、非常事態宣言ということで、実際その内容がどんなことを考えているのか、私にはまだ分かりません。もうちょっと様子見ないと出てこないんだと思います。ただ、ずっと思っていることは、いずれ厳しい状況になってくれば起こる予想がつくことは、例えばですね、町民のいろんな施設の使用料を上げていくとか、そういったことを多分、場合によっては考えなくちゃいけないです。そういったことも、今の段階から念頭に置く必要があるだろうし、例えば人件費だって、人件費もですね、合併以降、少しずつ人数も減らしたり、努力はされてきていますけれども、今もって約15億ですか、今年、新規採用をどんだけ採るのか知りませんが、そういったことの見直しも含めてやっていただきたいと思いますけど、その点どうでしょうか。

○議長（堀内春美さん）

財務課長 望月聡君。

○財務課長（望月聡君）

ただいまのご質問にお答えをいたします。議員おっしゃるとおり、そのような施策を進めて参りたいと考えております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

齊藤欽也君。

○9番議員（齊藤欽也君）

最後にですね、町長にちょっと直接お伺いしたいというのは、こうやって議論してきました、町民も当然今回の議論を見て、非常に関心を持っていると、この町大丈夫なのかと、税金上がらないのかとか、そして子どもたち、ますます住みづらくなるから町を出ちゃうよねとか、いろんな心配されています。ですから、そういうことに対して、やはり誠実に、この町の今の現状と、こういうふうにしていくよと。例えば具体的にはこういうことを考えているよと、収入はこうやって入る、こういうところは削るよというそういった説明もですね、含めてやるべきだろうと思いますけど、その点についてお考えをお伺いします。

○議長（堀内春美さん）

町長 望月利樹君。

○町長（望月利樹君）

まさにですね、スクラップアンドビルド。いろいろなことを見直してですね、そして簡素化しながらですね、でも効果的に事業を進める、やるべきことはやるっていうことをですね、しっかりと判断しながら、やっていきたいと思っています。財源が、なかなかその確保が難しくなってくる中でですね、ですから税収をどうやって上げていくか。例えば、企業を1件実績が出てきましたけど、企業誘致をしていくとかですね、ふるさと納税、これまちづくり公社によってですね、力強く、今度、推進していくつもりでございます。そういったことをですね、稼ぎ出すっていうことをですね、しっかりとやりながら、一方でしっかりと質素儉

約をしていくということ、健全な財政に向けてしっかりと努力していくということ。そういったことを両輪で進めていきたいと思っています。ご心配のようなですね、町民への負担増、これはですね、もう極力避けたいと思っています。そういうところまでいかないようにですね、しっかりとですね、稼ぎ出して、そして儉約して、この将来シミュレーションの予測値に反するようですね、いい数字になってきたなというようなですね、町政運営を進めていきたいというふうに、思っているところでございます。以上です。

○議長（堀内春美さん）

齊藤欽也君。

○9番議員（齊藤欽也君）

儉約、やるべきだろうと思いますけど、同時にですね、やはり町民が住んでいいと、あるいは将来、夢と希望が持てるよと、子どもたちの住みたいというためのね、施策も、多少お金をかけながらになるんでしょうけども、やっていかなくちゃいけないんで、いい町を作りながら、なおかつ財政を健全化するという難しいかじ取りをですね、これから一生懸命やっていただきたいし、また町民に対しても、その都度、そういったことを念頭に説明をしていただきたいということをお願いして、私の一般質問は終わりたいと思います。ありがとうございました。

○議長（堀内春美さん）

以上で通告6番 9番 齊藤欽也君の一般質問を終わります。
